

応用リソース

ARナビ無料提供 スマホカメラで情報取得

応用地質のグループ企業である応用リソーススマネージメント（東京都文京区、中神章彦社長）は、地図上に記録したあらゆるスポット情報をスマートフォンなどのタブレットに内蔵されたカメラで見つけるAR（拡張現実）ナビゲーションアプリ「（仮称）ロケーションViewer」を開発、2017年春ごろから無料提供を開始する。

カメラ、GPS（全地球測位システム）、コンパス機能を使い、位置情報チャンネル



画面に目的地までの距離が現れる

を選択すると、「ARモード」では、カメラを向けた方向にほしい情報が表示され、「MAPモード」では、地図上に目的のスポット情報が表示される。モードはワンタッチで切り替えが可能だ。

例えば、観光協会が観光情報をロケーションViewerに登録し、それを一般の人が見ること、新たな観光スポットを発見することができる。

同社は、ロケーションViewerのアプリ名を募集している。応募用URLは(<https://www.reportmap.com/event/koubo/>)。ファクス(03-6240-0445)、郵送(〒112-0002 東京都文京区小石川1-1-17 とみん日生春日町ビル3

階 応用リソーススマネージメント(株)ジオクラウド事業部「ロケーションViewer」(名称応募係)でも応募可能だ。最優秀賞(ネーミング採用)には5万円分の商品券を贈呈するなど、副賞も設けている。

応募締め切りは23日まで(消印有効)。結果発表は11月。問い合わせは、ジオクラウド事業部・電話03-6240-0448。

